

分科会開催報告書

報告日 令和 3年 10月 17日 (日)	報告者 佐藤和広
分科会名 古文書を読む会	開催テーマ 第一学習 参勤交代 (松平春嶽)
開催日時 令和 3年 10月 14日 (木) 午前 10:00 時 ~ 12:00 時	開催場所 金沢公会堂第二会議室
参加人数 古文書を読む会会員 男 9名 女 3名 合計 12名 欠席者 2名	

今回より第一学習は「参勤交代 (松平春嶽)」に入る。

・ 武家諸法度

江戸幕府が制定した幕藩体制の基本法。

元和元年 (1615) 徳川家康の命により2代将軍秀忠の名前で布告された13カ条が最初。その後3代将軍家光の寛永12年 (1635) 改定が行われ、19ヶ条のより具体的な細目を掲げた。特に大名の参勤交代を制度化明確化し、一国一城令や500石積以上の大船建造を禁ずるなど大名への各種統制を定めている。

・ 『東海紀行』は松平春嶽 (当時17才) による参勤交代の道中記で、江戸の奥儒者成島築山先生から「道の記」を書いてみよと宿題を仰せつかっていた。

そこで春嶽は天保15年 (1844) の2回目の参勤交代で江戸～福井への帰国時の道中記 (4/29～5/11日の13日間) を提出することにしたようで、『甲辰東海紀行』がこれに相当し、配下の儒者がいろいろ添削を加えている。

今回は第1回目としてその序文を読んだ。

次回予定 令和3年10月28日 (木) 10:00～12:00

場 所 : 金沢公会堂第二会議室

テーマ : 第二学習 島原の乱⑩